

あなたとJAをおすすめ情報誌

なかしべつ

2003

2月
No.338

「目標に向かってレベルアップを図る」と山本 大さん。

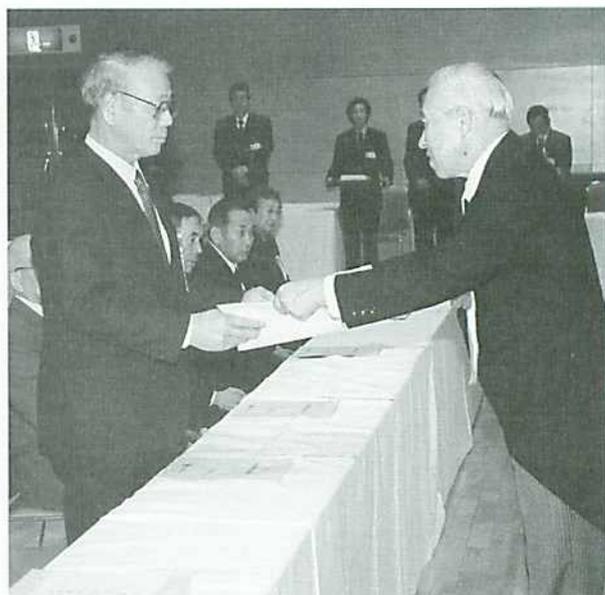


2団体を表彰。

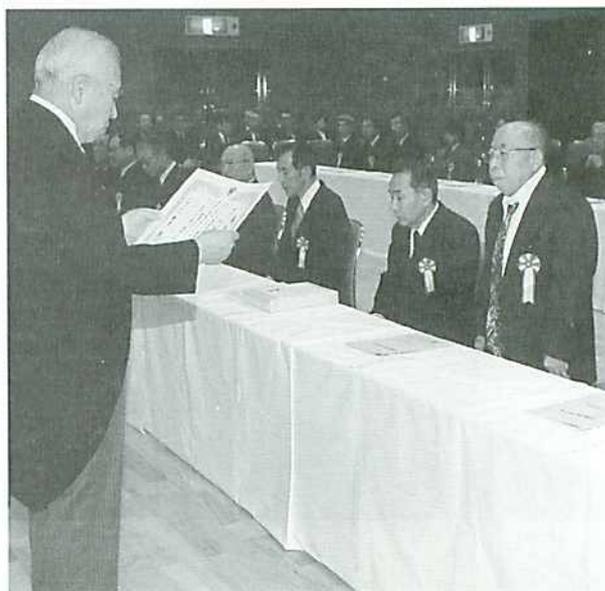
のあった21人2団体が表彰されました。



表彰を受ける北川氏



武田氏



松田氏

受賞者の皆さん

当農協から自治貢献賞に北川栄治氏、武田勇氏、産業貢献賞に松田昌介氏、産業振興奨励賞に清原賢二氏、教育文化奨励賞に小林茂氏がそれぞれ新出町長から一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。

受賞者のうち当農協関係者は次の通りです。

自治貢献賞

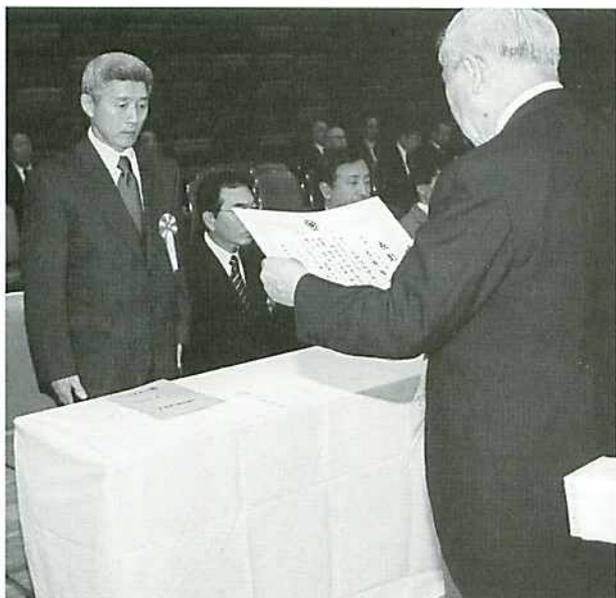
● 北川栄治氏

平成二年七月から平成十四年七月まで十二年間の永きにわたり、中標津町農業委員会委員として、本町の農業振興発展に多大な貢献をされました。

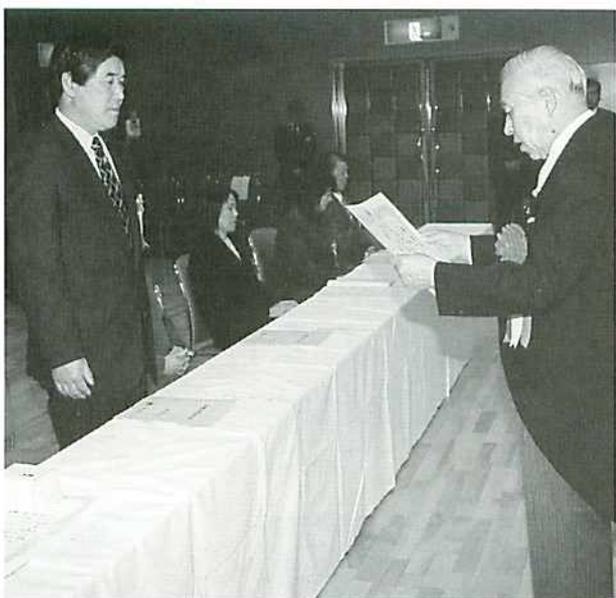
第25回 中標津町表彰式

町の発展に21人

第25回中標津町表彰式が1月15日、同町総合文化会館で開催され、社会・経済・教育などの発展に顕著な功績



清原氏



小林氏



● 武田 勇氏

昭和六十二年七月から平成十四年七月まで十五年間の永きにわたり、中標津町農業委員会委員として、本町の農業振興発展に多大な貢献をされました。

産業貢献賞

● 松田昌介氏

昭和五十三年十二月から現在まで二十三年間の永きにわたり、中標津町森林組合の理事として、本町の林業振興発展に多大な貢献をしています。

産業振興奨励賞

● 清原賢一氏

昭和四十二年から現在まで三十五年間の永きにわたり「中標津林業研究グループ」会員として、また、昭和五十七年からは会長として林業技術・林業経営の研究改善に努め、平成十四年には造林コンクールで農林水産大臣賞を受賞するなど、本町の林業振興に多大な貢献をしています。

教育文化奨励賞

● 小林 茂氏

昭和四十五年から現在まで三十二年間の永きにわたり、バスケットボールチーム中標津クラブ及びバスケットボール協会の運営に尽力し、平成四年からはバスケットボール協会会長を務めるなど、バスケットボールの普及並びに体育の振興発展に多大な貢献をしています。



私達のテーブルが一番よ!

女性部新年恒例会

1月21日、農協大会議室において平成14年度女性部新年恒例会が開催されました。

横田部長の開会挨拶



「クレエ」の利用と地産地消をとりいれ、前進した女性部活動を目指そう。

今年も部員間の情報交換・交流・組織強化を図るべく、役員・支部長らが中心となって企画し、心配された当日早朝からの小雪も、部員の願いが空に届いたのか、開始前には快晴となり、八十人ほどの部員・関係者が集いました。

横田部長が「昨年暮れに完成した新施設「クレエ」の利用と地産地消を取り入れ、今後、一歩も二歩も前進した女性活動を目指し、家族揃って健康で笑顔の絶えない一年を送りましょう!」と、挨拶。これを受けて高橋組合長より祝辞をいただき、普及センター益村係長の乾杯で大宴会がスタ



女性の一歩のストレス解消法は、おしゃべりしながら食べること!

一年の始まりは、 女性の笑顔から！



手作り小物もあっという間に売り切れに！

手作り展示作品



強制!? 飛び入り参加で盛り上げてくれたJA職員の皆さん

毎年趣向を凝らした新作品が並ぶ当農支部



景品目指して真剣ジャンケン

トしました。

テーブルには、農協、あるるよりそれぞれいただいたご芳志の他、部員持ち寄りの漬け物、寿司、オードブル、恒例のAコープマーク品手作りゼリー、また、今年は、新施設「クレエ」の有効利用を願い、役員・支部長らが作ったヨーグルトアイスが並べられ、女性部ならではの手作りのご馳走で一杯になりました。

大好評！「ひとつぼシヨップ」 終始笑顔と笑い声のゲーム大会

正午過ぎより毎年恒例大好評！の「ひとつぼシヨップ」が開始され、地区や個人で出店した手芸品、ドライフラワー、和・洋菓子など会場一杯に並べられた販売品も、あっという間に完売となる大盛況の売れ行きとなりました。また、販売用だけでなく、女性部活動の中や、個人の趣味で作った手芸品、人形、レース編み、パッチワーク、染め物なども展示作品として飾られ、それぞれの女性部員が活いきと活動する様が伝えられ、それを元に情報交換するなど賑やかな会場となりました。

続いてゲーム大会では、農協職員らの飛び入り参加（組合長命令だったそうです笑）で、会場は一気に盛り上がり、テーブルゲーム「友達の輪」、ビンゴゲーム、ジャンケン大会が行われ、景品目指した女性同士の戦いを垣間見た（笑）、終始笑顔と賑やかな声が絶えない一日となりました。

今年も、笑顔で過し、生きることの第一歩「食」に意識を置いた健康な農村生活を送りましょう！

集計

単位：千円

	収		入	
	14年計画	14年実績	15年計画	過不足
生乳	7,880,969	8,063,297	8,117,984	54,687
補給金	576,681	635,727	593,788	-41,939
小計	8,457,650	8,699,024	8,711,772	12,748
乳用牛	549,539	569,823	570,452	629
肉用牛	265,410	345,880	349,583	3,703
その他畜産物	3,606	4,548	11,794	7,246
固体販売計	818,555	920,251	931,829	11,578
家畜共済金	149,999	390,768	153,764	-237,004
畜産物計	9,426,204	10,010,043	9,797,365	-212,678
馬鈴薯	334,799	346,712	336,177	-10,535
てん菜	101,662	114,304	101,165	-13,139
その他農産物	23,335	20,316	26,814	6,498
大根	83,534	82,812	73,620	-9,192
農産収入計	543,330	564,144	537,776	-26,368
農業雑収入	539,494	797,473	570,616	-226,857
農業収入計	10,509,028	11,371,660	10,905,757	-465,903
農外収入	165,783	98,951	33,669	-65,282
資金借入	36,254	88,294	51,944	-36,350
資金受入	435,226	757,073	383,260	-373,813
その他				0
合計	11,146,291	12,315,978	11,374,630	-941,348

	平成14年実績 254戸	平成15年計画 252戸
乳量(t)	115,164.03	118,193.29
大根 収量(C/S)	59.6ha 282,250C/S	63.75ha 299,100C/S
てん菜 収量(t)	134.40ha 5,904.90	133.90ha 5,966.00
馬鈴薯種子	76.20ha	73.60ha
食用	61.00ha	63.80ha
澱原 収量(袋)	393.90ha 117,639	380.10ha 111,550
加工	24.00ha	23.20ha
乳用牛(頭)	3,134	3,098
肉用牛(頭)	7,267	6,961
乳牛総頭数	26,304	26,133
12カ月以下	4,732	4,712
13～24カ月	5,434	5,436
25カ月以上	16,138	15,985
総所有地 ha	15,283.73	15,754.46
改良草地 ha	7,988.73	8,473.80
永年草地 ha	4,253.14	4,251.86
畑地 ha	849.30	941.90
山林原野他 ha	2,192.56	2,086.90

	14年計画	14年実績	15年計画	一戸平均実績	一戸平均計画
農業収入	10,509,028	11,371,660	10,905,757	43,570	42,936
農業経営費	6,922,163	7,550,886	7,236,253	28,931	28,489
農業所得	3,586,865	3,820,774	3,669,504	14,639	14,447
所得率	34.1%	33.6%	33.6%		

平成15年

営農計画総

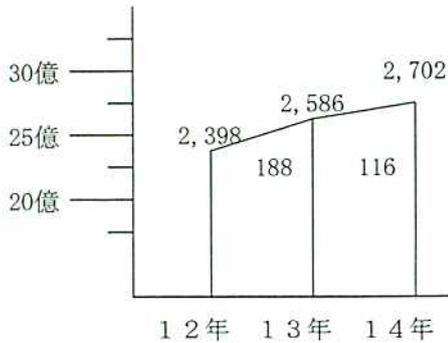
	支		出	
	14年計画	14年実績	15年計画	過不足
労賃	194,521	248,443	285,769	37,326
肥料	540,237	542,536	546,029	3,493
生産資材	394,270	459,538	398,973	-60,565
水道光熱	368,240	379,313	377,507	-1,806
飼料	2,497,278	2,654,718	2,593,812	-60,906
養畜費	459,418	510,331	489,344	-20,987
素畜費	31,475	37,895	34,925	-2,970
農業共済	378,535	377,321	389,229	11,908
賃料料金	796,454	897,898	834,242	-63,656
修理費	352,999	482,396	354,082	-128,314
諸税諸負担	543,026	573,166	563,011	-10,155
支払利息	200,085	169,953	197,640	27,687
その他経営費	165,625	217,378	171,690	-45,688
農業支出計	6,922,163	7,550,886	7,236,253	-314,633
家計費	1,956,813	2,049,742	1,968,753	-80,989
経費+家計費	8,878,976	9,600,628	9,205,006	-395,622
資金返済	993,716	1,005,160	878,780	-126,380
貯金共済	1,015,075	1,086,402	1,018,637	-67,765
農業機械	49,471	171,101	67,184	-103,917
その他	208,165	332,052	212,139	-119,913
合計	11,145,403	12,195,343	11,381,746	-813,597

	14年計画	14年実績	15年計画
総収入合計	11,146,291	12,315,978	11,374,630
総支出合計	11,145,403	12,195,343	11,381,746
収支過不足	888	120,635	-7,116

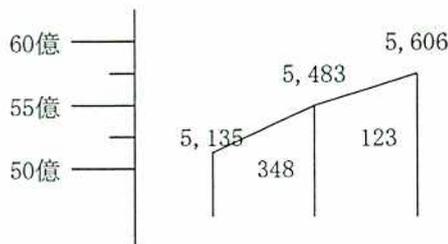
農協の 財務状況

平成14年度12月末における、
財務の状況についてお知らせいたします。

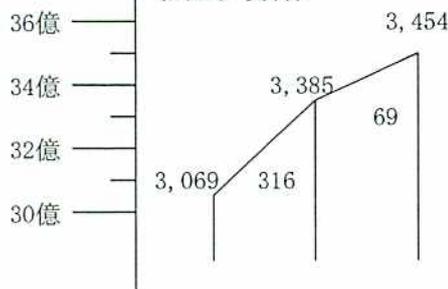
借入金



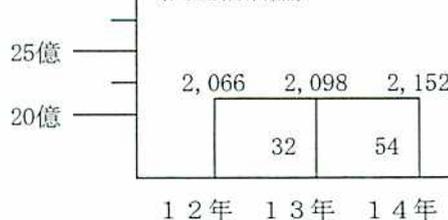
購買品供給高



(内生産資材)



(内生活店舗)



貸付金

組勘含む貸付金では、前年同期より農林漁業資金一億四百万円、長期貸付金二億一千二百万円、組勘貸越一千九百万円などが増加し、近代化資金三千百万円、転貸資金一千二百万円の減少となり、総額では二億九千六百万円の増加となっております。

クミカン

預かり残高については、前年同期より二千六百万円が減少し、貸越残高は五百万円の増加となっております。収入全体では、乳代（補給金含む）四億八千七百万円、家畜共済金五千七百万円、農業雑収入五千八百万円、資金受入一億八百万円が増加し、個体販売で一億七百万円、農産物二千百万円、資金借入七千三百万円が減少してありますが、収入合計では五億

九千八百万円の増加となっております。

支出については、農業支出三億六千万円（飼料費一億一千七百万円、労賃七千三百万円、賃料金七千七百万円、生産資材など九千四百万円）、家計費二千八百万円、資金返済一億三千二百万円、貯金共済三千七百万円、農業機械二千二百万円、その他五千万円が増加し、支出合計で六億三千百万円の増加となっております。

貯金

昨年同期に比べ、定期貯金一億三千二百万円、普通貯金六億二千八百万円、別段貯金四千万円、営農貯金二千五百万円などが増加し、組勘二千五百万円、出資予約貯金五千五百万円が減少してありますが、全体では、七億九千四百万円の増加となりました。

販売事業

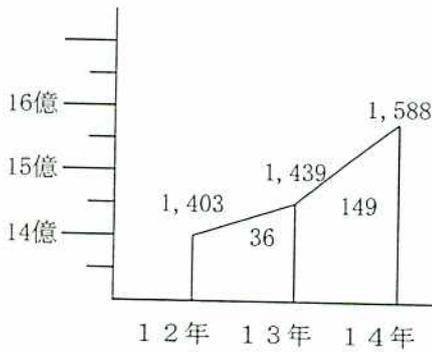
販売品取扱高については、乳代（補給金含む）三億三千万円、畜産物三千百万円が増加し、農産物で六百万円減少したものの、全体では前年同期を三億五千五百万円上回る結果となりました。

購買・店舗事業

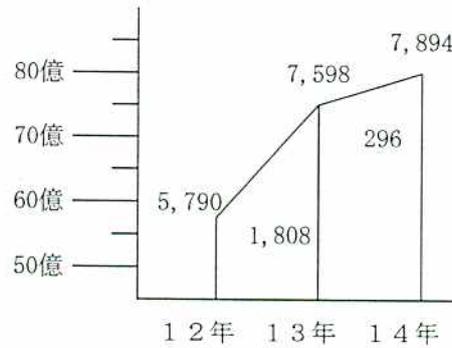
購買品取扱高については、飼料七千七百万円、燃料一千五百万円、農機具六百万円が増加し、肥料一千六百万円、その他資材一千三百万円が減少しましたが、全体では、六千九百万円の増加となりました。また、店舗取扱高は、前年同期より五千四百百万円の増加となりました。今後におきましても、なお一層の努力をさせていただきますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

平成14年度12月末主な事業概況(単位：百万円)

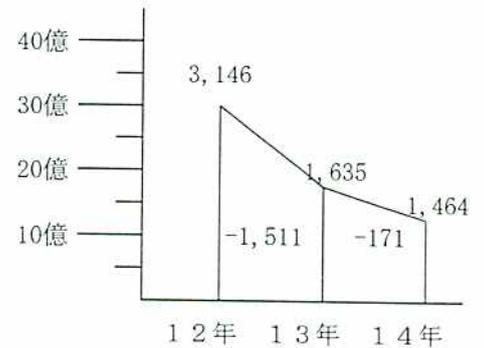
自己資本



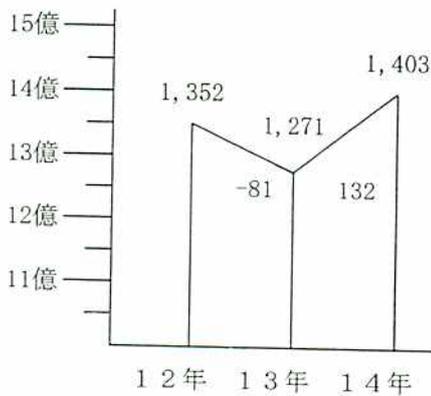
貸付金(組勘貸残含む)



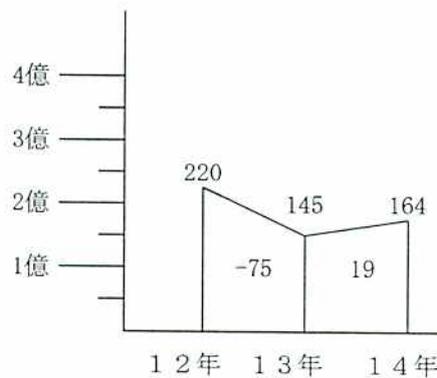
受託資金



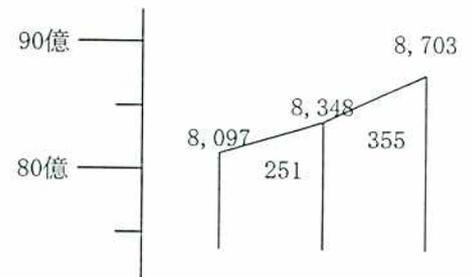
固定資産



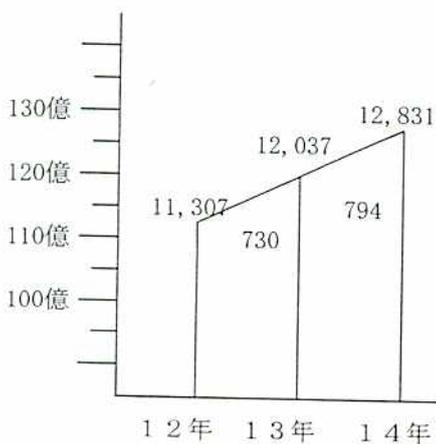
組勘貸越残



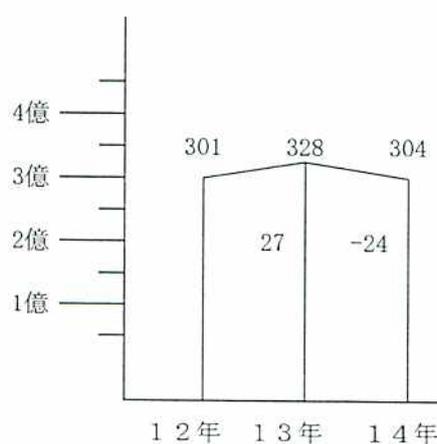
販売品取扱高(補給金含む)



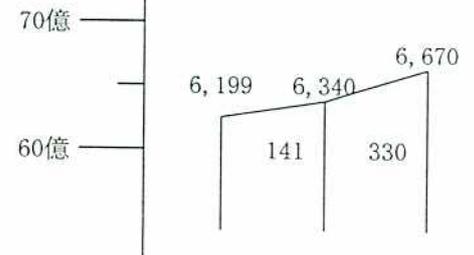
貯金(組勘預り残含む)



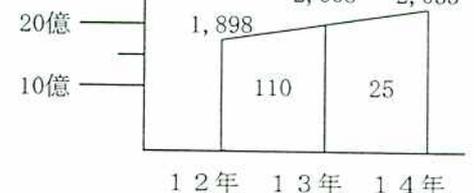
組勘預り残



(内乳代)



(内畜産物・農産物)



アイドル IDOL

わが家の 人気者

「お母さんのお手伝いができるようになりたい!」という唯希ちゃん

度々の雪に見舞われる今日この頃、今月の人気者は、大人顔負け多彩な趣味の!?女の子、武佐地区・松田隆さん宅・長女・唯希ちゃんです。

保育所のお休みの日に、お邪魔したところ「こんにちほ!」と、少しはにかみながら出迎えてくれました。

早速、唯希ちゃんにいつも何をして遊んでいるのかと尋ねると、おじいちゃんが作ったというカマクラでお祈りごっこ?をして遊んだり、ぬいぐるみで遊んだり、トム&ジェリーのビデオが大好きで、保育所に行く前の少しの時間も逃さず毎日観たりしているんだって。ここまでは普通の子供のただこれだけ...、お歌が大好きで、これまたおじいちゃんが購入したカラオケをお兄ちゃんと一緒に毎日歌っているとかで、この日も自慢の一曲「おさかな天国」を披露してくれました(ちなみにお兄ちゃんはディスク番号も暗記するほど歌い込んでいるみたい〜笑)。それから虫が?大好きで、てんとう虫など、あまり人気のない虫を好んで採って、成長を観察したり、温泉に行くのが大好きだったり、とにかく、大人顔負

けの趣味多彩であることにびっくりしました(笑)。

そんな唯希ちゃんに、大きくなら何になりたいかを尋ねると「お母さんのお手伝いができるようになりたい!」と、現実的な答えが返ってきました。

それを受けて、ママに唯希ちゃんの将来に期待する事は?と尋

ねると「大きな病気をしないで元気でいてくれれば!〜あっ!変な男に捕まらなければいいかな?」(笑)なんて答えてくれました。

家族中に朗らかさを振りまいて育つ唯希ちゃん。その多彩な趣味を生かして、スーパーレディを目指してね!期待してよ!



松田 唯希ちゃん

まつだ ゆき
1998年3月19日、松田隆・むつ子さん夫妻の長女として生まれる。

営農技術

乳房炎を予防しよう

北根室地区農業改良普及センター

乳房炎は乳頭口からの菌の侵入で起こります。乳頭口が傷んでいると、菌の侵入する危険性が高くなります。ですから、乳房炎を防ぐには、乳頭口を傷めないということが重要です。そこで、搾乳立会を通して表一のよきな問題点が多く見られますが、その中でも、ミルクカーの管理について説明します。

一、ゴム類の交換

○ライナーゴム
劣化しているかどうかは、ゴム手

表1 現場で多く見られる問題点

機械面	管理面
<ul style="list-style-type: none"> ・ライナーゴムの劣化 ・チューブ類の劣化 ・ミルクホースの長さの調整不足 ・ミルクインレットの向きの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディッピング剤の不良（濃度など） ・ディッパーの選択（ディッピング液のつき方） ・乳頭清拭の方法 ・清拭に使うタオルの管理（枚数、保管方法） ・牛床の管理

袋を着け、ライナー内部を指でこすってみて、指先が黒くなったり、黒い筋がついてきたら、いたみがあり、ひび割れしています。これでは、搾乳時に開閉がうまくいかないのので、乳頭へのマッサージが不完全となり、搾乳時間が長くなります。その結果、過搾乳につながり、乳頭口を傷めることとなります。

対策→三カ月毎、最大使用しても四カ月（但し、シリコン製の場合は六カ月毎）毎に交換する。但し、各メーカー指定の交換時期が原則。

※交換時の注意点
・中で捻れないように上下にある「▽や↓」などの印を合わせる。シエルのショートエアチューブ差込み口に印を合わせると、合わ

せやすい（図一）。
・次回交換日を記録しておく。

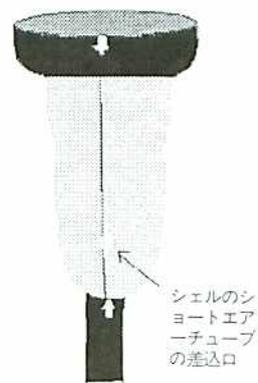


図1 印を合わせるポイント

○チューブ類

劣化しているかどうかは、チューブを見てひび割れや亀裂があるかどうか確認します（写真一）。劣化していると、搾乳時、エア漏れの原因

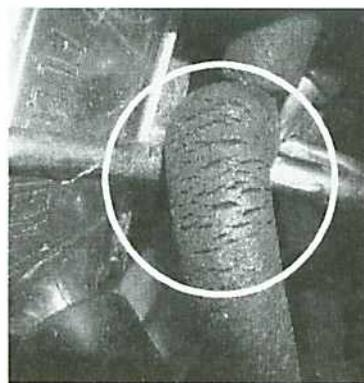


写真1 ひび割れのあるチューブ

となり、乳頭にかかる真空圧（クロ一内圧）の変動も大きくなります。その結果、乳頭口を傷めることとなります。

対策→一年毎に交換する。但し、メーカー指定の交換時期が原則。

二、ミルクホースの長さの調整
搾った牛乳がクローから配管に行

くとき、真空圧に差が生じます。ここでミルクホースが長すぎると、この差が大きくなり、乳頭にかかる真空圧（クロー一内圧）も低くなります。これは、過搾乳につながり、乳頭口を傷めることとなります。また、長すぎると、ユニットを正しい位置に装着できず、ライナースリップが起きやすくなります。

対策→乳房の位置にユニットを持っていき、牛床につくほどたるまない長さに切断したり、針金などのフックを使って調整し、牛の体に沿わせるようにする（写真三）。

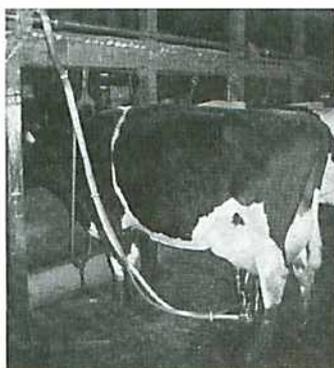


写真3 牛の体に沿わせたミルクホースの状態



写真2 ユニートを乳房の位置に合わせ、たるみが出たミルクホースの状態



依橋地区 山本 大さん(25歳)

「規模拡大・長命連産」を目標に。



今回は、依橋地区の山本大さんをご紹介します。

大さんは釧路工業高校(工業化学科)を卒業後、川崎市の昭和電工エレクトロニクス(半導体)部門の作業長を二年間努めた後、八紘学園に入学し、卒業後、山本牧場の後継者となりました。現在、ルーキーズカレッジで勉強中で、農協青年部や乳牛改良同志会などにも在籍し積極的に活動しています。

趣味はスノーボード・ミニバレー・映画鑑賞などで、優しく人当たりが良く、真面目な性格です。

将来の目標は? との間に「規模拡大・長命連産」と答えてくれました。目標に向かってレベルアップを図ろうと頑張っています。

〈青年部調査・広報委員会〉

大西 雅秀

勤続20年を迎えて



生産部農産販売課
皆川 敏広

この度、中標津町農協に勤めさせていただき、節目でありますところの勤続二十年を迎えさせていただきます。

思いおこしますと色々な事が頭の中をよぎりますが、皆様のご指導、ご協力によりまして無事勤めさせていただきました。真にありがとうございます。今後も頑張りますので宜しくお願いいたします。



営農部家畜改良課
長崎 浩二

昭和五十六年農産課でん粉工場係として入組、同年七月生活店舗課、六十二年家畜改良課に異動。

組合員、職員の方々のご指導、ご協力により無事二十年を迎えることが出来ました。これからも組合員、農協発展の為に一生懸命努力し頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



生活部生活店舗課
大内 和人

中標津町農協に就職以来、組合員、職員皆様に支えられ、早いもので二十年が経過いたしました。

最初は農産販売課でん粉工場、以来、営農資材課給油所係、畜産販売課肉牛係、そして生活店舗と農協ならではの多種多様な業務の一部一部を担当させていただきました。つらい事もありましたが、皆様に支えられ良い事も沢山あり、今日に至る事が出来ました。本当にありが

とうございます。今なお、酪農情勢も様々な事があり、厳しい状況におかれておりますが、少しでも農協事業の力になれる様、より一層努力し、心を新たにがんばっていく所存です。今後とも、ご指導下さいますようお願い致します。

後継者夫婦が親睦交流

中標津町農協
農業後継者結婚対策情報

准会員との懇談会開催



中標津町農協農業後継者結婚対策協議会の准会員懇談会が、十二月二十一日、寿宴を会場に七組の夫婦が集い交流を深めました。

この懇談会は、結婚対策協議会会員で結婚後も准会員として三年間会員になってもらい、お互いの交流、親睦を深める事を目的としています。今年度は、十二組が対象会員となっており、今回は七組十四人と結婚して生まれた子供さん四人が参加しました。

開会にあたり、高橋勝義結婚対策

協議会長が「良き出会いの中で結婚された事に大変うれしく思う。お嫁さんの中には道外から嫁いだ方も多く、この会の中で良き友達づくりをしてほしい。お互い良きパートナーとして農業経営に頑張っていたください」と挨拶。

続いて、結婚対策協議会の佐藤拓、杉本匡視相談員が「結婚後の相談も遠慮なく気軽に話してほしい」と話されました。

その後、参加者による自己紹介が行われ、有意義な懇談会となりました。

コストをかけずに土地、 気象条件をいかした経営。



ブリスデービス氏の農場視察時(右側がブリスデービス夫婦、中央がシェアミルクの女性)

ニュージーランド農業視察研修を終えて

営農部経営相談課主任 宮本 博司

前回に続き報告させていただきま

す。
農業コンサルタントのボーンジョー
ーンズ氏の紹介により、農場二カ所
を視察見学。

ブリスデービス氏農場(草地面
積三百五十畝、搾乳牛九百頭)では、
草地管理状況と放牧の仕方を見学。
約〇・五畝程に電牧によって区切ら
れたところに、百二十頭の搾乳牛が
放牧されています。ニュージーラン
ドは草の再生が良いのか、過放牧と
も思われる状況でもありません。

この農場主は、三カ所に牧場を所
有していますので、草地管理はコン
トラ業者に依頼しています。ここで
雇用されている女性も同席していて、
この女性はシェアミルクとの
こと(この農場主と雇用者のシェ
アーミルク率は二〇割というこ
とですが、この制度については別に
報告)。

一方、昨年までハミルトン市長で
あったというラスリミントンの牧
場では、パーラー施設を主に見学し
ました。パーラーは両サイドに三千
頭ずつ並んでいたもので、三十頭Wか
ちと思いきや、ミルクは三十セット。
ちようと搾乳中でした。パーラー本
体の施設は、トタン張りの極めて簡
素なものです。百二十畝の草地を四
十二に区切つての放牧。搾乳牛三百
五十頭を百七十頭と百八十頭の二群

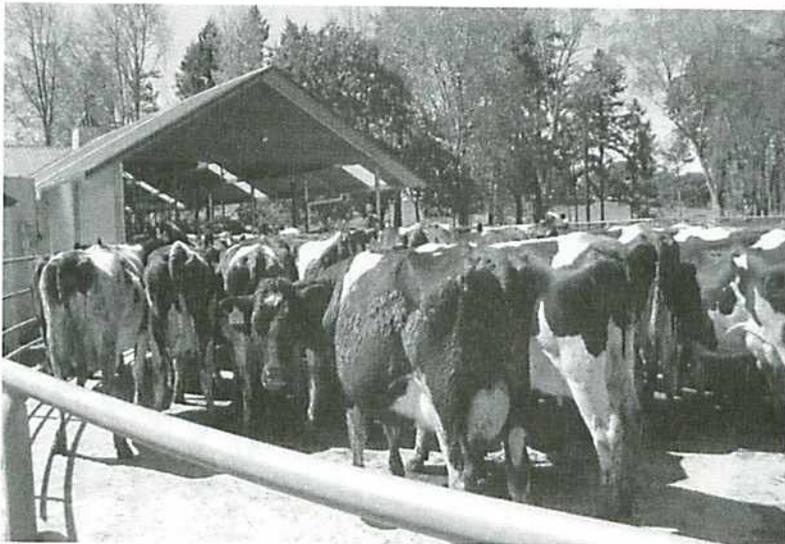
に分けています。体型はジャージー
種を一回り大きくしたくらいで、北
海道のホルスタインからみると小型
でした。育成が見当たらないから確
認したところ、預託制度もあるよう
で、その料金は七〜八週目から預け、
一頭当たり一年目は週二百六十円、
二年目は週四百五十円程度であり、
二万五千円〜三万円で分曉前に帰っ
てくることになりました。

いずれの農場も、いかにコストを
かけないかが基本的な考えとなつて
いて、そのためにニュージーランド
の土地、気象条件を最大限に生かし
た経営構造となっていました。

●シェアミルク制度

農場を持たない者(シェアミルク
ー)が、農場オーナーに代わり搾乳
作業や日常管理作業を全面的に受け
持つ仕組みで、このことを基本に双
方が契約し、収入を一定の割合で分
配(シェア)するものであり、少な
い資本で酪農へ新規参入できるメリ
ットの特徴を持ち、また、技術と資
本の蓄積を可能とすることからスム
ーズな経営継承を促進し、ニュージ
ーランドでは伝統的な農場オーナー
への最初のステップとなっている制
度で、現在、本制度シェアミルク
による生産高は、全体の五〇割を生
産しています。

分配率二〇割・酪農ヘルパー的存在
であり、農場オーナーに搾乳作業



ラスリミントン氏の農場視察時(ホールディングエリア)

などの労働力のみを提供します。分配率三九割・シェアミルカー自身が作業機械を所有し、コントラ作業をします(二〇〜三九割の範囲で双方協議して設定)。地主となり、シェアミルカーは不在が資本(牛群・機械など)を保有し、農作業の全てを実施します(シェアミルカーの七五割がこの分配率で行っています)。

最終日に農機具会社、資材会社、農業祭の三件を視察しました。

●農機具会社ノルウッド

ニュージールランド全国に九支店あり、その一店を視察しました。トラクターはニューホランドとクボタを取り扱い、六五ps〜二八五psの範囲ですが、この支店は穀物用が多く、一〇〇ps〜一五〇psが主流で価格は一〇〇psが日本円で六百〜七百万円とのことでした。

この視察した支店の地域は近年、酪農・ブドウが増えてきている点と、個人よりコントラ会社の需要が増えてきているということでした。

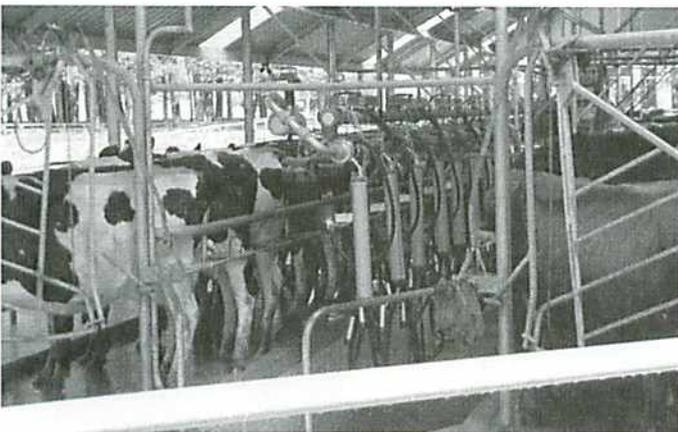
●資材販売会社ライトソン

ニュージールランド全国に二十四支店を有し、農業資材の最大メーカーで一九八八年にこの会社から行政が手を引き、その後、急成長しました。農場や研究施設を持ち、種子の品種改良・資材の改良などにも力を入れているとともに、農業指導体制もとられています。

●カンタベリー農業祭視察

ノルウッドとライトソンからの情報で開催されていることがわかり、急遽日程に追加して視察しました。農業祭として毎年十一月中旬に四日間位で開催し、酪農立国だけあって、その間の金曜日は、この地域の学校も含め全産業休日らしいです。

農業祭の内容は、羊、馬、牛の共進

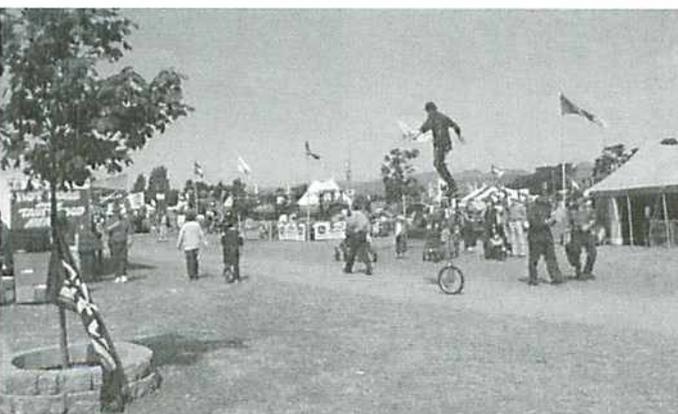


ラスリミントン氏のバーラー

会をはじめ、機械の展示イベントなど各種ありました。今回、視察研修の最終日でなければ、ここで土産を買いたいくらいの特価品や興味深いものが多種ありました。

悲しいことに飛び込みのため、時間もなく回りきれなかったのが悔やまれました。

今回このような視察をさせていただき、十日間にわたり、管内農協の方とたくさん酒を飲んだり、口に合わないご飯をみんなで我慢して食べたり、真剣に勉強したりなど、情報交換や親睦を深めることができたこ



カンタベリー農業祭

とは、私にとって大変貴重な経験をさせていただいたと思っています。農場などの視察研修については、基本的に北海道草地酪農との経営構造比較は無理な話ですが、草づくり、牛づくり、そして乳を搾るという大きな循環システムという観点から見ると、同様の課題が示されたような気がしました。

見たままを報告させていただきましたが、機会を与えていただいた役員の皆様や、関係機関の皆様には感謝を申し上げます。ありがとうございます。

●府県消流視察に参加して

中標津の牛は、 “良く稼いでくれる”と好評。

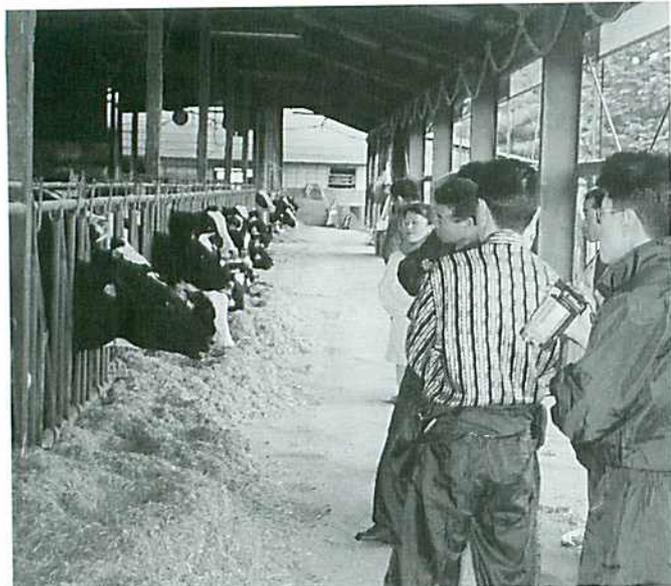
中標津乳牛改良同志会 多田 栄治

去る平成十四年十月十八日～二十日までの三日間の予定で横田会長、久保さん、川村さん、寺島さん、福嶋信博さん、笠井さん、農協より土井上さん、自分と八人で中標津空港を出発し、羽田に降り、電車で長野まで行き、杉山さんと山崎さんのお迎えにより杉山牧場を見させていただきました。杉山牧場には、中標津からの乳牛がおり、大変すばらしい牛との事でありました。夜には、中標津からの乳牛を買っていただいている酪農家の人と

の懇親会があり、中標津の牛は、稼いでくれるとの評判でありました。

次の日は、前夜懇親会をした酪農家の家を四軒見させていただきました。四軒の農家すべてが、フリーストールミルクシステムの施設でありました。四軒すべての酪農家に中標津の乳牛がいました。四軒すべて好評でありました。乳の出る牛、共進会で上位に入る牛等々。四軒目の萩原金蔵様の家では、焼肉をかねて昼食をこちそうになりました。みなさんは、これからも中標津の牛を購入したいとの事でした。これも偏に山崎畜産社長の牛を見る日によるものと思います。

次の日、中標津へ帰ってきましたが、消流に初めて参加し、中標津乳牛の良さを改めて知る事となりました。また、農家回りなど最後まで車で案内していただいた山崎畜産様、杉山牧場様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。



将来、食糧危機で農業を見直す時代がくる。

●東北・北海道地区JA青年部組織幹部研修会 青年部副部長 鷺見 建



平成十四年度、東北・北海道地区JA青年組織幹部研修会が一月九日～十日、札幌全日空ホテルで開催されました。

一日目の基調講演では、拓殖大学北海道短期大学・環境農学科長の相馬暁氏が

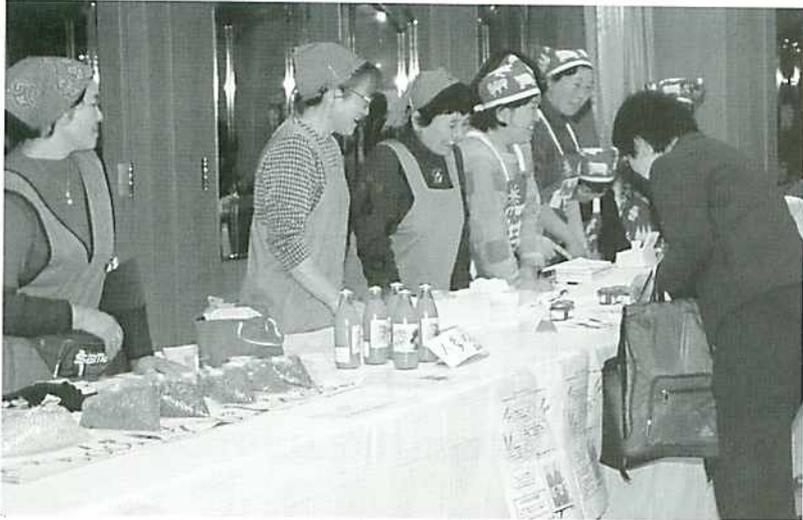
「二〇二〇年、農業が輝く時」というテーマで講演がありました。説得力のあるユニークな話術で、人口増加や人々が豊かになることで食糧危機になり、間違いなく農業を見直さざるを得ない時代がくるということでした。また、輸入農産物の光と陰のタイトルで、ミニトマトを例に上げて農業の話がありました。

講演の後は、「食の安全・食農教育・循環型農業」のテーマで分散会が行われ、食農教育を中心に話し合いがもたれました。その中で、子供の教育も大切だが我々大人も教育されなければならぬという意見もあり、考えさせられました。

二日目は、各地区のJA青年組織活動実績発表大会と、JA青年の主張発表大会が行われ、午後二時に閉会しました。



■テーマ「食」と「農」を見つめ直し、「安心」を次世代へ



全道各地から自慢の品物を持ち寄るファーマーズマーケット

一月二十九、三十日の二日間、道内の農村女性ネットワーク組織が主体となつて、異業種の女性経営者や消費者ら、約千人が一堂に会し、交流を通じた食と農の連携や、新しい農村づくりを考えるおかみさん交流大会が、京王プラザホテル札幌で盛会に開催されました。

最近、世間で取りざたされている問題「食・農・安心」を、メインテーマとして進められ、優良事例発表や基調講演、約百七十品目の農畜産物加工品が並ぶファーマーズマーケット（直売イベント）、ミニシンポジウムなどが行われました。中でも、小さな女性活動から視点を変

「まち」と「むら」のおかみさん交流大会

えた生活の展開を図ることで、今ではNPO（特定非営利活動）法人として認証されるまで、幅広く活動しているグループの基調講演は、女性活動をしている私達に小さな夢と勇気と希望を持たせてくれるような、そんな刺激あるお話でした。

二日間の大会で、生産・経営・環境・地域など、私達が生きる上での大切な事が、食と農を女性の立場で、必要性をもって考え、見つめ直すことで安心できる自分達の将来を、次世代をつくる切っ掛けとなるという事を参加者は感じていたのではないのでしょうか。

明日から！いえ、今から！視点を変えてちょっと違う自分として生活してみましょ！



当JA管轄から参加した3人



一月二十七日(月)町体育館にて、ミニサッカー大会が行われました。今回は役員会で一チーム編成し、全六チームでの対戦になりました。昨年行われたワールドカップの影響か、各支部レベルの高い試合が行われました。が、思うように体が動かない人や、年齢を感じて（僕もそうでした！）しまった人もおりました。結果は優勝俵橋チーム。準優勝は役員会チーム、三位は開陽チーム、四位武佐チーム、五位当幌チーム。実は一カ月前から密かに練習を重ね、優勝を狙ってましたが、中心となっていた僕が役員会チームに入り、その夜の新年会の二次会では「裏切り者！」、「自分だけ準優勝して！」など、僕は非難的となってしまいました(泣)。六位俵落チーム。最後に若い人も、年上の人も、うまい人も下手な人も一所懸命に頑張っていました。親睦という点では非常に良かったのですが、来年度はもうひとつマージャン大会など加えて、年上の人も交流ができればと思います（僕はマージャンできないんですけど）。レク委員、参加された皆様ご苦労様でした。



年の差も、技術の差も…痛感しました。

●青年部親睦ミニサッカー大会

調査・広報委員長 筒井 辰也

暮らしの

知恵袋

健康は 毎日の暮らしの 積み重ね

北根室地区農業改良普及センター

北海道（保健福祉部）は、二月一日～七日までを平成十四年度の「生活習慣病予防週間」と決めました。（注：年度によって期間は変わります）

「健康は日々の暮らしの積み重ね」を合い言葉に、生活習慣を見直すことで健康を維持していこうという趣旨です。



一、生活習慣病って何？

「食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症・進行に関与する疾病群」を生活習慣病といいます。

少し前までは成人病と呼ばれていましたが、発病の原因が日常生活の様々な部分に潜んでいるため、このように呼ばれるようになりました。

主なものに悪性腫瘍、脳卒中、心臓病、高血圧、骨粗鬆症、歯周病などがあります。

二、子どもから大人まで

成人病が中高年になってから注意すべきというイメージがあったのに対して、生活習慣病は子どもも含めて一生に渡って健康的な生活を心がけ、病気を予防すべきものという意味が含まれています。

三、さまざまな原因が絡まって

これらの疾病は親から受け継いだ遺伝的要因、日常の生活習慣などの要因、さらに加齢による老化現象も加わって、いつの間にか私たちの体をむしばんでいきます。

四、食事・運動・休養が 予防のカギ

生活習慣病予防週間に今までの生活を見直し、悪いところは改善しましょう。



① 食生活のチェック

食事が不規則になっていたり、食品が偏っていませんか。動物性脂肪や塩分・糖分の摂り過ぎには注意を。

② 運動のチェック

運動不足は血液の循環を悪くさせるだけでなく、肥満や動脈硬化につながります。骨や筋肉の機能も低下させるので、生活習慣病にかかりやすくなります。歩くことから始めましょう。

③ 休養のチェック

休息・睡眠を十分にとり、規則正しい生活を送ることが健康の第一歩です。

さらにお酒の飲み過ぎ、たばこの吸いすぎに注意を。



第十一回理事会の経過

開催日時 平成十四年十二月二十七日

〈決議事項〉

- 一、JA全国監査機構が実施した期中監査に係る期中改善指示書に対する回答について
 - 二、平成十四年度仮決算について
 - 三、平成十四年度期中事業割戻しについて
 - 四、各種資金の借入申込について
 - 五、参事の死去に伴う解任と後任参事の選任について
- 〈協議事項〉
- 一、地区別懇談会の主な意見について
 - 二、平成十四年度上半期「JA経営状況に関する報告」について
 - 三、平成十四年度組合員の加入状況について
 - 三、第五期生乳安定生産対策について

四、平成十四年クミカン年度の出荷乳量実績について

第十二回理事会の経過

開催日時 平成十五年一月三十一日

〈決議事項〉

- 一、北海道農業信用基金協会の出資増口について
- 二、平成十五年度営農計画書供給認定について
- 三、各種資金の借入について
- 四、平成十五年度重点指導・地区重点指導組合員(案)について
- 五、重点指導・地区重点指導組合員に対する家計費の供給について
- 六、汚染乳賠償責任保険加入に係る保険料の徴収について
- 七、農協有バルククーラー貸付事業の固定資産取得について
- 八、畜産販売課・農産販売課車輻り

一、スの更新について

九、平成十五年度畜環リース事業について

十、家畜改良課車輻リースの更新について

〈報告事項〉

- 一、平成十四年度十二月末乳製品工場の実績について
- 二、十四年度乳質改善対策経過並びに十五年度体細胞数自主規制措置について
- 三、平成十四年度十二月末販売事業の実績について
- 四、農畜産物生産履歴記帳運動実施要領について
- 五、北のクリーン農産物表示制度の概要について
- 六、平成十五年度酪農畜産政策価格対策について
- 七、JA共済コンプライアンス点検結果について
- 八、各種補助事業実績と計画について
- 九、牛海綿状脳症の発生について

1月の組合日誌

7日	一般業務開始
9日	女性部50周年記念式典打ち合わせ 畜環リース聞き取り説明会
10日	営農協議
14日	営農協議 食品加工交流部会 畑対全体会議 中央会監査～15日 第5回熟年会役員会 中長期計画畑作部会 ルーキーズカレンダー研修会 フリースランド講習会
15日	乳質向上委員会 振興計画酪肉牛部会 営農協議～17日 農協酪対役員会
16日	第3回青年部消費拡大委員会 乳牛改良同志会役員会
17日	役員協議会 第7回青年部調査広報委員会 畑作推進事業打ち合わせ
20日	女性部新年恒例会 種子馬鈴しょ部役員会
21日	第11回青年部役員会 グリーンクラブ役員会 ルーキーズカレンダー研修会
22日	営農委員会 大根生産者会議
23日	馬鈴しょ振興会五役会
24日	資金保証人会議
25日	てん菜生産振興会監査・役員会 生産委員会 農業振興計画酪肉牛部会 コンピュータ部会
27日	営農委員会 馬鈴しょ振興会 乳牛改良同志会役員会 農民連盟役員会監査・役員会
28日	農産物生産振興会 てん菜生産振興会役員会 馬鈴しょ振興会役員会 農民連盟役員会 ルーキーズカレンダー研修会
29日	農業簿記研修会 野菜産地改革協議会 和牛振興会役員会
30日	振興計画担手部会 第12回理事会
31日	馬鈴しょ振興会役員会

3カ月予報

向こう三カ月の天候

三カ月平均気温は、平年並の可能性が大きく、その確率は五〇％です。

可能性の大きな天候の見通し

二月

平年と同様に、日本海側では雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。気温は平年並の見込みです。

三月

天気は周期的に変わるでしょう。低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となりますが、長続きしないでしょう。気温は高い見込みです。

四月

天気は周期的に変わるでしょう。気温は平年並の見込みです。三カ月間降水量、日本海側の降雪量は共に平年並でしょう。

懐しき古き一枚の写真



昭和25年頃の写真だと思います。
この写真は、ちょうど近所へ出かける時に撮ったもので、当時交通の足として農耕馬を使用していました。冬になると後ろにソリをつけて、馬の鞍に大きめの鈴をつけ、「シャンシャン」と鈴を鳴らし、街などへ買い出しに出かけました。
今の車兼トラクターの用な存在でしたね。

写真提供 藤井 弘美氏